

写真資料目録一覧

掲載	通番	資料番号1	資料番号2	資料番号3	標題	撮影年代	備考	項目
	1	図	24 風	1-10	栄盛川の川口			風景
○	2	図	24 風	2-11	新地 特殊飲食店			遊郭
○	3	図	24 風	3-12	洞海港若松渡場附近	昭和初期	昭和8年まで水上警察署が渡場のすぐ横にあった。	風景
	4	図	24 風	4-13	中川通りの想像絵			風景
	5	図	24 風	5-14	水売りの想像絵	明治40年頃		風景
	6	図	24 風	6-15	北湊の海水浴場			風景
○	7	図	24 風	7-16	海岸通りに碇泊するランチ			風景
	8	図	24 風	8-1-17	若松市南海岸通り	昭和10年頃		風景
	9	図	24 風	8-2-18	小石丸窓	昭和8年以前	筑前若松市大字小石丸窓花壇 玄関口 (其三)	風景
	10	図	24 風	9-1-19	小石丸窓	昭和8年以前	筑前若松市大字小石丸窓花壇 裏山の休憩所 (其八)	風景
	11	図	24 風	9-2-20	小石丸窓全景	昭和8年以前	筑前若松市大字小石丸窓花壇 花壇全景 (其六)	風景
○	12	図	24 風	10-1-21	中の島より渡場を見る			風景
○	13	図	24 風	10-2-22	若松より戸畑市街を望む	昭和8年以前	水上署移転前。対岸ヨリ見タル戸畑市街 (其一)	風景
	14	図	24 風	11-1-23	小石丸窓より海岸を望む	昭和8年以前	筑前若松市大字小石丸窓花壇 花壇より湾岸を望む (其七)	風景
○	15	図	24 風	11-2-24	連歌町石門			遊郭
	16	図	24 風	11-3-25	連歌町石門			遊郭
	17	図	24 風	12-1-26	小石丸窓正門	昭和8年以前	筑前若松市大字小石丸窓花壇 正門 (其一)	風景
	18	図	24 風	12-2-27	小石丸窓噴水並に茶屋	昭和8年以前	筑前若松市大字小石丸窓花壇 噴水並に茶屋 (其二)	風景
○	19	図	24 風	13-28	高塔山より見たる若戸市街			風景
	20	図	24 風	14-29	航空写真岩屋附近			風景
	21	図	24 風	15-1-30	脇田海水浴場			風景
○	22	図	24 風	15-2-31	若松競艇場			風景
	23	図	24 風	16-1-32	脇田海岸			風景
	24	図	24 風	16-2-33	白鳥を望む			風景
	25	図	24 風	17-1-34	遠見が鼻			風景
	26	図	24 風	17-2-35	若松の北海岸			風景
	27	図	24 風	18-1-36	遠見ヶ鼻			風景
	28	図	24 風	18-2-37	岩屋より白鳥を望む			風景
	29	図	24 風	18-3-38	脇ノ裏			風景
	30	図	24 風	19-1-39	遠見ヶ鼻			風景
	31	図	24 風	19-2-40	遠見ヶ鼻			風景
	32	図	24 風	19-3-41	岩屋より白鳥を望む			風景
	33	図	24 風	20-1-42	ゴルフ場			風景
	34	図	24 風	20-2-43	ゴルフ場			風景
	35	図	24 風	21-1-44	ゴルフ場			風景
	36	図	24 風	21-2-45	ゴルフ場			風景
	37	図	24 風	21-3-46	ゴルフ場			風景
	38	図	24 風	22-1-47	市街及北湊工業地帯			風景
○	39	図	24 風	22-2-48	北湊工業地帯			風景

掲載	通番	資料番号1	資料番号2	資料番号3	標題	撮影年代	備考	項目
○	40	図	24風	23-1-49	若松市街			風景
○	41	図	24風	23-2-50	二島日本板硝子附近			風景
	42	図	24風	24-1-51	脇田海水浴場			風景
	43	図	24風	24-2-52	丘の上まで耕された島(梨山附近)			風景
○	44	図	24風	25-1-53	江川	昭和2年頃	若松市史第一集。	風景
○	45	図	24風	25-2-54	若松市街より八幡製鉄所を望む			風景
	46	図	24風	26-1-55	頓田貯水池			風景
	47	図	24風	26-2-56	石峯山ハイキングコース			風景
	48	図	24風	27-1-57	平和通り			背景
	49	図	24風	27-2-58	市役所屋上より高塔山を望む			背景
○	50	図	24風	28-1-59	パチンコ			風景
	51	図	24風	28-2-60	辦財天通り			風景
○	52	図	51罌	1-10	遠賀川の川罌	明治末期	小竹町鴻ノ巣橋附近。	川罌
○	53	図	51罌	2-11	帆をあげた川罌			川罌
	54	図	51罌	3-12	川罌	明治終期～大正期	水巻・川守神社。	川罌
○	55	図	51罌	4-13	川罌、唐戸水門附近			川罌
○	56	図	51罌	5-14	吉田、堀川の切抜附近をゆく川罌			川罌
○	57	図	51罌	6-15	堀川を網で引いてさかのぼる川罌	明治42年6月	唐古附近。大門準作・蔵。	川罌
○	58	図	51罌	7-16	川罌、吉田堀川の切抜附近			川罌
○	59	図	51罌	8-17	川罌、陣原附近	明治終期～大正初期		川罌
○	60	図	51罌	9-18	若松新地船入場	明治42年6月	大門準作・蔵。	ハシケ
○	61	図	52帆	1-1-6	機帆船の群	昭和10年頃		機帆船
○	62	図	52帆	1-2-7	石炭積込を待つ機帆船			機帆船
○	63	図	52帆	2-1-9	港内の機帆船	昭和初期		機帆船
○	64	図	52帆	2-2-10	港内の機帆船(藤ノ木棧橋)			機帆船
○	65	図	52帆	3-8	港内に並ぶ機帆船群(藤ノ木棧橋)	昭和12年	若松市史第一集。	機帆船
○	66	図	52帆	4-1-11	機帆船群			機帆船
○	67	図	52帆	4-2-12	対岸牧山より洞海湾を望む		海底を水道管が通っている。	機帆船
○	68	図	52帆	5-1-13	機帆船			機帆船
○	69	図	52帆	5-2-14	岸壁に待機する機帆船(藤ノ木棧橋)			機帆船
○	70	図	52帆	6-15	若松埠頭で荷役を待つ機帆船群			機帆船
○	71	図	52帆	7-16	機帆船寸景			機帆船
○	72	図	52帆	8-17	雨の洞海湾			機帆船
	73	図	53炭	1-1-29	棧橋とガントリークレーン			輸送
○	74	図	53炭	1-2-30	石炭船と石炭車			機帆船
○	75	図	53炭	2-31	貯炭場			貯炭場
○	76	図	53炭	3-1-32	貯炭			貯炭場
○	77	図	53炭	3-2-33	戸畑側、新川棧橋、穴繰(均作業)			ごんぞう
○	78	図	53炭	4-34	石炭とはしけ			ハシケ
○	79	図	53炭	5-35	石炭のある風景			貯炭場
○	80	図	53炭	6-1-36	石炭荷役に励む女仲仕			女仲仕
○	81	図	53炭	6-2-37	石炭荷役			沖仲仕
○	82	図	53炭	7-1-38	天狗取(バンカー積)		今は姿を消した。	ごんぞう
○	83	図	53炭	7-2-39	石炭荷役に励む女仲仕			女仲仕
○	84	図	53炭	8-40	港湾労働者と若戸大橋			沖仲仕

掲載	通番	資料番号1	資料番号2	資料番号3	標題	撮影年代	備考	項目
○	85	図	53 炭	9-41	本船荷役へ向かう沖仲仕			沖仲仕
○	86	図	53 炭	10-42	石炭荷役			ごんぞう
○	87	図	53 炭	11-43	若松埠頭での石炭荷役		若戸大橋は工事中。	ごんぞう
○	88	図	53 炭	12-44	沿岸荷役			ごんぞう
○	89	図	53 炭	13-45	藤ノ木高架棧橋下で働く女仲仕			女仲仕
○	90	図	53 炭	14-46	石炭荷役			ごんぞう
○	91	図	53 炭	15-47	石炭仲仕			ごんぞう
○	92	図	53 炭	16-48	船内での石炭揚荷役			沖仲仕
○	93	図	53 炭	17-49	石炭揚荷役（モッコ取り）			沖仲仕
○	94	図	53 炭	18-50	若松埠頭での沿岸石炭荷役	昭和 30 年頃	ベルトコンベア使用。	ごんぞう
○	95	図	53 炭	19-51	石炭揚荷役			沖仲仕
○	96	図	53 炭	20-52	石炭沖荷役			沖仲仕
	97	図	53 炭	21-53	はしけ			ハシケ
○	98	図	53 炭	22-54	鯉の七夕まつり			船上生活
○	99	図	53 炭	23-55	弁才天前を走る港内自家用車			風景
○	100	図	53 炭	24-56	鯉と本船	昭和 30 年代		ハシケ
○	101	図	53 炭	25-57	沖ウロ			うろさん
○	102	図	53 炭	26-58	船上での炊事			船上生活
○	103	図	53 炭	27-59	街をゆく石炭車			石炭車
○	104	図	61 港	1-1-14	洞海湾風景		対岸ヨリ見タル戸畑市街（其二）	風景
○	105	図	61 港	1-2-15	在港船で賑う洞海湾		九州若松百景 港内汽船。	風景
○	106	図	61 港	2-1-16	若松埠頭	昭和 12 年	若松市史第一集。大阪商船の客貨定期便（大阪～四国航路）が発着していた。	風景
○	107	図	61 港	2-2-17	ランチ	昭和初期		風景
○	108	図	61 港	3-1-18	若松埠頭			輸送
○	109	図	61 港	3-2-19	浚渫船	大正初期	若築丸竣工記念、若松築港株式会社。	浚渫
○	110	図	61 港	4-1-20	空から見た洞海港			風景
○	111	図	61 港	4-2-21	若松港			風景
○	112	図	61 港	5-1-25	海陸連絡工事（一）	大正末期	若松市海陸連絡工事方塊沈没船。	浚渫
○	113	図	61 港	5-2-26	海陸連絡工事（二）	大正末期	若松市海陸連絡工事方塊創出棧橋。	浚渫
○	114	図	61 港	6-27	洞海港展望			風景
○	115	図	62 交	1-1-12	駅鈴		楠野家蔵。	輸送
○	116	図	62 交	1-2-13	若松駅構内と洞海港	大正 10 年以前	高架棧橋撤去以前。若松停車場構内（其一）	輸送
○	117	図	62 交	2-1-14	若松駅構内	大正期	ホイストクレーンは明治 31 年設置。	輸送
○	118	図	62 交	2-2-15	若松駅操車場			輸送
	119	図	62 交	3-1-22	若戸渡船		左、客船。右、貨物船。	渡船
	120	図	62 交	3-2-23	観光船くき丸		昭和 28 年 7 月就航。	観光船
	121	図	62 交	3-3-24	市営バス発着所（若戸渡船場）			渡船
	122	図	62 交	4-25	廃止直前の貨物渡船		客輸送に利用。	渡船
	123	図	62 交	5-1-26	貨物船より上陸する通勤者			渡船
	124	図	62 交	5-2-27	貨物船通勤者輸送にあたる			渡船
	125	図	62 交	6-28	貨物渡船			渡船
	126	図	62 交	7-29	洞海湾をゆく観光船くき丸			観光船
	127	図	62 交	8-30	若松渡船			渡船
	128	図	62 交	9-31	若戸貨物渡船			渡船
	129	図	65 漁	1-1-1	脇田漁港			風景
	130	図	65 漁	1-2-2	漁村風景			風景

掲載	通番	資料番号1	資料番号2	資料番号3	標題	撮影年代	備考	項目
	131	図	台	1	船内荷役		モッコによるまき上げ風景。	沖仲仕
	132	図	台	2	川艀（五平太船）			川艀
	133	図	台	3	東洋一のガントリークレーン	昭和15年頃	昭和10年完成。次第に機帆船に変わっていき機動力を発揮した。ガントリークレーンの1基は昭和24年の台風で倒壊した。	輸送
	134	図	台	4	繁華の本町街（旧本町5丁目）	昭和10年	すずらん燈が輝き繁華の中心で、銀行も殆どここに集まっていた。恵比寿祭には参拝客がこのあたりまで列をなして続いたという。	風景
	135	図	台	5	若松町立病院	明治末期	明治34年に開設されたもので、ベランダのついた玄関と、屋根のとがった特徴のある建物は印象的で、当時の設備の優秀さを誇った。	風景
	136	図	写	1	機帆船群			機帆船
○	137	図	写	2	若戸大橋と八幡の工場群			風景
	138	図	写	3	海上生活者寸景			船上生活
○	139	図	写	4	江川を行く川艀			川艀
○	140	図	写	5	江川を行く川艀			川艀
○	141	図	写	6	堀川を行く川艀			川艀
○	142	乾	2		蛭子神社鳥居		天保、再建の時。	信仰
	143	乾	8		海員児童寄宿舎			児童ホーム
	144	乾	9		海員児童寄宿舎			児童ホーム
	145	乾	10		恵比寿神社	明治12年頃		信仰
	146	乾	21		市街全図			風景
	147	乾	22		若戸貨物船			渡船
	148	乾	23		若戸渡船客船			渡船
	149	乾	24		若戸渡船場貨物船			渡船
○	150	乾	25		若松駅操車場	昭和12年	若松駅構内、若松市史第一集。	輸送
	151	乾	26		若松市役所			風景
	152	乾	46		水上警察艇とランチ			風景
○	153	乾	53		藤ノ木棧橋	昭和12年		輸送
	154	乾	54		藤ノ木棧橋	昭和12年		輸送
○	155	乾	55		藤ノ木棧橋	昭和12年	若松市史第一集。	輸送
○	156	乾	65		江川を行く川艀			川艀
○	157	乾	66		江川を行く川艀	昭和12年		川艀
	158	乾	67		帆檣林立			機帆船
	159	乾	69		埠頭（大阪商船）			輸送
	160	乾	70		埠頭			輸送
○	161	石	1		木造の舢と銅舢			ハシケ
○	162	石	2		石炭を積んだ一号若丸			ハシケ
	163	石	3		一号若丸			ハシケ
	164	石	4		石炭を積んだ一号若丸			ハシケ
	165	石	5		船上での集合写真			船上生活
	166	石	6		船上での集合写真			船上生活
○	167	石	7		伝書鳩と遊ぶ船上の少女		弁才天前。	船上生活
○	168	石	8		舢の進水式			船上生活
	169	石	9		船上での集合写真			船上生活
○	170	石	10		一号若丸進水式			船上生活
	171	石	11		船上での集合写真			船上生活

掲載	通番	資料番号1	資料番号2	資料番号3	標題	撮影年代	備考	項目
○	172	石	12		進水式			船上生活
	173	石	13		船上での集合写真			船上生活
	174	石	14		船上の諸施設			船上生活
○	175	石	15		船上での炊事			船上生活
○	176	石	16		船底での団らん		普段は石炭が積まれており、遊ぶと真黒になった。船底はドックで掃除した。昔は藁を燃やして熱射していた。	船上生活
○	177	石	17		船底での団らん			船上生活
○	178	石	18		弁才天前に浮かぶ艇の船上の寸景			船上生活
○	179	石	19		船上の部屋			船上生活
	180	石	20		進水式			船上生活
	181	石	21		若戸大橋を歩く			風景
	182	石	22		一号若丸			ハシケ
	183	石	24		船上での集合写真			船上生活
	184	石	25		船上での集合写真			船上生活
	185	石	26		船上写真			船上生活
○	186	石	27		船上写真			船上生活
	187	石	28		進水式			船上生活
	188	石	29		船上での集合写真			船上生活
	189	石	30		船上写真			船上生活
	190	石	31		船上での集合写真			船上生活
	191	石	32		進水式			船上生活
	192	石	33		船上写真	昭和 38 年	昭和 39 年 8 月 29 日の裏書あり。	船上生活
	193	石	34		石橋さん			船上生活
	194	石	35		船上写真			船上生活
○	195	石	36		一号若丸			ハシケ
	196	石	37		石炭を積んだ一号若丸			ハシケ
○	197	石	38		取材を受ける船上生活者			船上生活
	198	石	39		富重丸船上写真			船上生活
	199	石	40		遠足			船上生活
	200	石	41		遠足			船上生活
	201	石	42		スイカ割り			船上生活
	202	石	43		スイカ割り			船上生活
○	203	石	44		一号若丸			ハシケ
○	204	石	45		一号若丸			ハシケ
○	205	石	46		一号若丸			ハシケ
○	206	玉	1		石炭の沿岸荷役			ごんぞう
	207	玉	2		石炭の船内荷役			沖仲仕
○	208	玉	3		通りを歩くごんぞう			ごんぞう
○	209	玉	4		石炭の沿岸荷役			ごんぞう
○	210	玉	5		藤ノ木棧橋での石炭の船内荷役			沖仲仕
○	211	玉	6		新地 倉松商店（酒店）での角打の様子			ごんぞう
○	212	玉	7		沖ウロ			うろさん
○	213	玉	8		沖ウロ			うろさん
○	214	玉	9		若松駅構内と機帆船群			輸送
○	215	玉	10		葛島の前を行く艇			ハシケ
	216	玉	11		不明			不明

掲載	通番	資料番号1	資料番号2	資料番号3	標題	撮影年代	備考	項目
○	217	玉	12		石炭揚荷役			ごんぞう
○	218	玉	13		通船で荷役に向かう沖仲仕			沖仲仕
○	219	玉	14		沖仲仕			沖仲仕
	220	玉	15		路地裏の生活風景			風景
	221	玉	16		路地裏の生活風景			風景
○	222	玉	17		藤ノ木棧橋で遊ぶ子供たち			風景
	223	玉	18		子供たちの様子			風景
○	224	玉	19		海岸近くの路地で遊ぶ子供たち			風景
○	225	玉	20		石炭荷役、船内荷役			沖仲仕
○	226	玉	21		石炭荷役、沿岸荷役			ごんぞう
○	227	玉	22		中川通りを行く資材電車			風景
○	228	玉	23		中川通り			風景
○	229	玉	24		居酒屋でくつろぐ火野葦平さん			火野葦平
○	230	玉	25		河伯洞（自宅）にくつろぐ火野葦平さんと母親マンさん			火野葦平
○	231	玉	26		旧若松図書館前（旧筑豊鉱業組合）の火野葦平さん			火野葦平
○	232	玉	27		河伯洞（自宅）にくつろぐ火野葦平さんと母親マンさん			火野葦平
○	233	玉	28		映画「糞尿譚」ロケ現場の火野葦平さん	昭和 32 年		火野葦平
○	234	玉	29		玉井組の法被を羽織った火野葦平さん			火野葦平
	235	玉	30		居酒屋でくつろぐ火野葦平さん			火野葦平
○	236	玉	31		「川太郎」で酒を酌みかわす火野葦平さん			火野葦平

- (1) 「本書掲載分」欄は、写真資料のうち本書掲載の有無を示すもので、掲載分については○印を付した。
- (2) 「通番」欄は、収集した写真資料の整理番号を示すもので、すべての所蔵者・提供者の写真資料を一括して通番を付した。
- (3) 「資料番号1」欄は、所蔵者・提供者の区分を示すもので、「図」は北九州市立若松図書館所蔵写真、「乾」は北九州市立若松図書館所蔵乾板、「石」は石橋英子氏所蔵写真、「玉」は玉井史太郎氏提供写真である。
- (4) 「資料番号2」欄は、北九州市立若松図書館所蔵の写真・乾板資料のアルバム巻数・アルバム題目を示すもので、同図書館で付与された番号と題目の順に従って掲載した。
また、アルバム題目については、同様、同図書館で付された用語を使って、「風」風景、「艀」川艀、「帆」帆船、「炭」石炭、「港」港湾、「交」交通、「漁」漁業、「台」台紙、「写」写真とそれぞれ略語で示した。
- (5) 「資料番号3」欄には、北九州市立若松図書館所蔵写真資料について、アルバムの頁数・頁内の点数・図書館付与番号をそのまま記入した。また、掲載順序も同館の整理番号に準じた。
- (6) 「標題」欄は、写真資料の内容を示したものであるが、原則として所蔵者先で整理された標題を採用した。ただし、適宜、内容を改めて掲載したものもある。
- (7) 「備考」欄は、基本的には写真の裏面などに書き込まれた文章をそのまま記入している。

執筆者・関係者一覧 (敬称略・順不同)

1. 執筆者

田上 繁 神奈川大学非文字資料研究センター研究員 神奈川大学経済学部教授
神奈川大学非文字資料研究センター長

森 武麿 神奈川大学非文字資料研究センター研究員 神奈川大学法学部教授
神奈川大学歴史民俗資料科学研究科委員長

安田 常雄 神奈川大学外国語学部教授

藤川美代子 神奈川大学歴史民俗資料科学研究科 博士後期課程3年

松本 和樹 神奈川大学歴史民俗資料科学研究科 博士前期課程2年

2. 共同研究研究者・研究協力者

田上 繁 共同研究 研究者

森 武麿 共同研究 研究者

安室 知 共同研究 研究者

藤川美代子 共同研究 研究協力者

若宮 幸一 共同研究 研究協力者 本書「第2部 資料編」監修者

3. 共同研究調査参加教員・大学院生

安田 常雄 神奈川大学外国語学部教授

新垣 夢乃 神奈川大学歴史民俗資料科学研究科 博士後期課程2年

近石 哲 神奈川大学歴史民俗資料科学研究科 博士後期課程1年

平田茉莉子 神奈川大学歴史民俗資料科学研究科 博士後期課程1年

松本 和樹 神奈川大学歴史民俗資料科学研究科 博士前期課程2年

4. オーラルヒストリーの話者

渋田 幸子 (元・船上生活者)

石橋 英子 (元・船上生活者)

田上キサ子 (元・船上生活者)

清水 善治 (元・機帆船乗組員)

越智 俊充 (元・船上生活者)

越智 頼子 (元・船上生活者)

中島 哲郎 (現・若松児童ホーム 施設長)

古谷 俊雄 (現・若松児童ホーム 保育士)

中井 陽子 (元・若松児童ホーム 保育士)

道上みどり (現・若松児童ホーム 栄養士)

佐々木偉昇 (元・若松児童ホーム 保育士)

佐々木和代 (元・若松児童ホーム 保育士)

中山 弘文 (㈱五菱 会長)

岡部 秀年 (第一港運㈱会長)

稲益 敏幸 (稲益造船㈱社長)

中野 種洋 (中野船食 社長)

(1、2、3の所属・肩書きは2014年3月現在、4は聞き取り時のもの)

5. 写真資料の資料所蔵者・提供者

北九州市立若松図書館 わかちく史料館 玉井史太郎 石橋 英子 渋田 幸子

6. 調査協力機関・協力者

北九州市立若松図書館 北九州市立中央図書館 若松児童ホーム 北九州市旧古河鋳業若松ビル

福岡県立若松高等学校 わかちく史料館 火野葦平資料館 河伯洞 中間市歴史民俗資料館

直方市石炭記念館 田川市・石炭歴史博物館 若松海員組合会館 北九州市立二島市民センター

ホテルルートイン北九州若松駅東 古書店ハッピー 丸窓てんぷら店 焼鳥屋一ちゃん

原田多賀子 元森 昌彦 端野 米泰 (故人) 家次 寔 島中 久和 畑野 博史 白木 邦弘

坂本 孝子 轟 良子 重藤 一 田上 亘 田上 實 富山 静子 辻村 征之 辻村 和子

管野 順子 渋田 慎 野村 省子 坂本 孝子 木村 文男 竹之内 浩 吉田 憲二

ISBN 978-4-904124-20-8

北九州市若松洞海湾における船上生活者の歴史の変容
—オーラルヒストリーからのアプローチ—

発行日 2014年3月20日
編集 水辺の生活環境史（水上生活）研究班
発行 神奈川大学日本常民文化研究所 非文字資料研究センター
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
TEL 045-481-5661 FAX 045-491-0659
URL <http://himoji.kanagawa-c.ac.jp/>
制作・印刷 株式会社 精興社

Printed in Japan ©神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センター 2014 非売品
著作権者の文書による許諾がないかぎり、法律が認める場合を除き、本書の全部もしくは
一部を複製すること、あるいは送信公開することを禁じます。